

第1章 高齢者施策の現状と課題

1 計画策定の背景と目的

わが国では超少子高齢社会が急速に進行しており、2025年（平成37年）には団塊の世代が75歳を迎えるなど、ひとり暮らしや高齢者夫婦などの高齢者のみの世帯、更には認知症の高齢者の増加が予想されています。東郷町においても、この状況は決して例外ではなく、平成29年度には総人口に占める高齢者の割合は22%を超え、認知症高齢者など介護を必要とする高齢者の増加が今後も見込まれます。

こうしたなか、平成27年3月に策定した第6期東郷町高齢者福祉計画では、国の制度改正に伴い、地域包括ケアシステムの構築・強化や費用負担の公平化などに取り組んできました。

今回新たに策定する第7期東郷町高齢者福祉計画は、平成30年4月より施行される「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律」に則り、地域包括ケアシステムの深化・推進や介護保険制度の持続可能性の確保に向け、高齢者福祉に関する事業や介護保険制度の円滑な実施に関する総合的な計画として策定するものです。

平成30年度 介護保険制度改正の主な内容

追加予定

- ・国の7期計画重点課題
特に、地域共生社会、我が事、丸ごとについて

2 高齢者人口等の推移

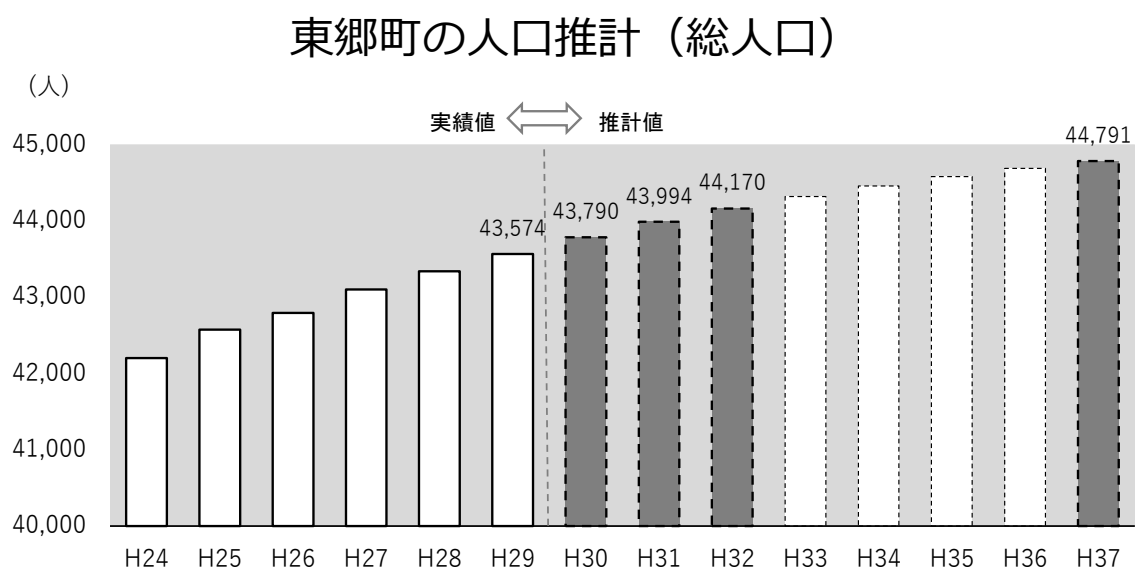
①総人口の推移

東郷町の人口は、平成 28 年 3 月策定の東郷町人口ビジョンによれば、子育て環境の向上やセン
トラル開発による計画人口により、今後もゆるやかに増加していく見込みとなっています。

平成 29 年 9 月末現在の人口は 43,346 人となっており、一貫して増加傾向にあります。

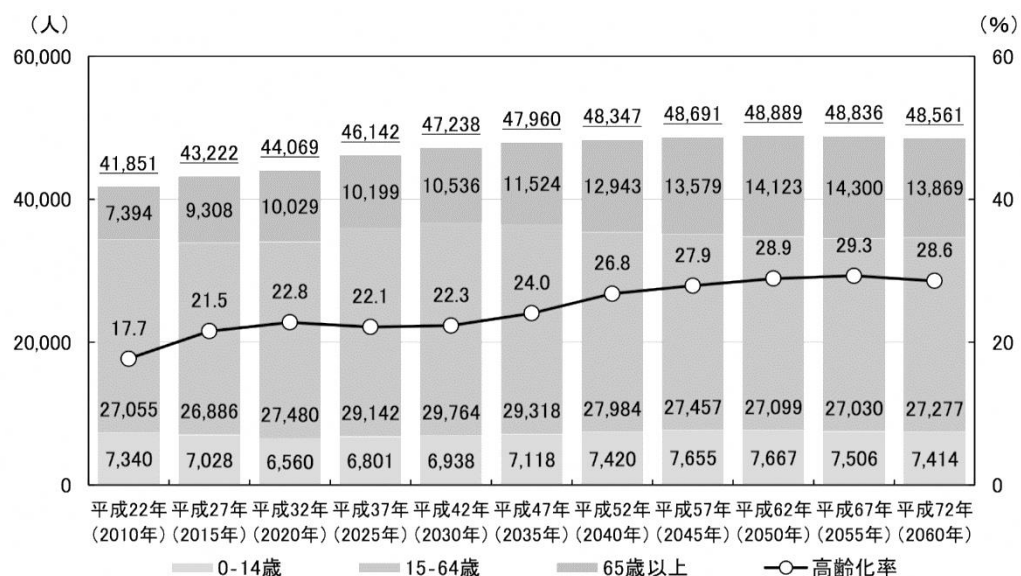
これまでの見込みや平成 24 年から平成 29 年までの実績値を基に、コーホート要因法により推
計したところ、平成 37 年には 44,700 人程度になると見込まれます。

図表 1 東郷町の人口推計（総人口）



資料 H29 までは東郷町「住民基本台帳人口（外国人住民を含む）」より
H30 以降は各年 9 月末現在の推計値

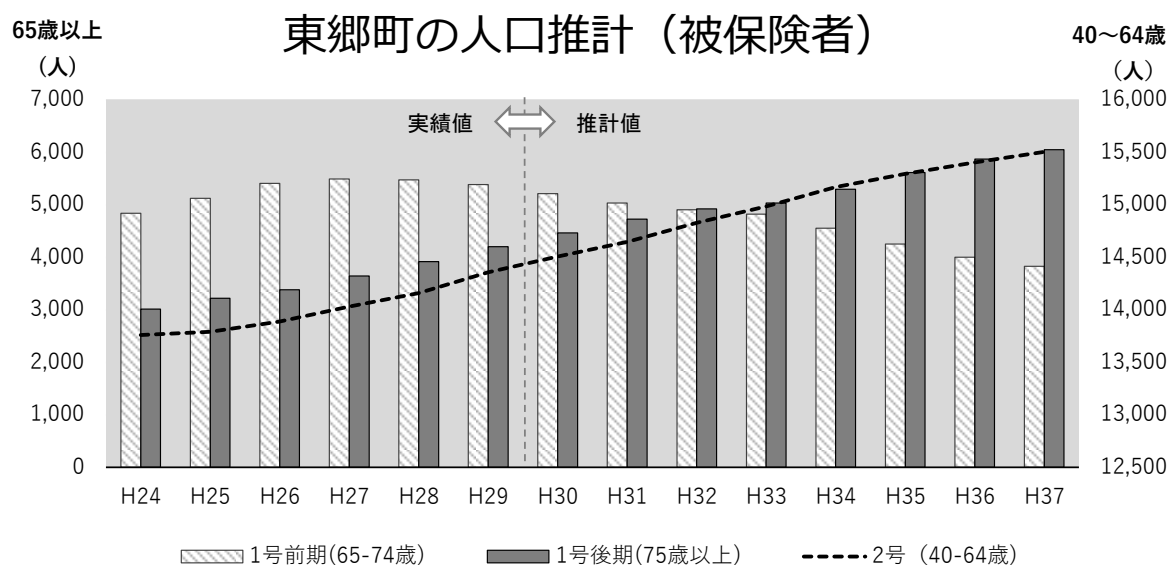
<参考> 東郷町人口ビジョンにおける人口推計



②40 歳以上人口、高齢者人口の推移

40 歳以上の年齢別人口を見ると、平成 29 年 9 月末現在、40～64 歳が 14,358 人、65～74 歳が 5,390 人、75 歳以上が 4,205 人となっています。独自推計による年齢別人口によれば、65～74 歳人口は平成 27 年をピークに減少に転じる一方、75 歳以上人口は一貫して増加し、平成 32 年にはその数が逆転する見込みです。40～64 歳人口についても増加が続きますが、平成 35 年以降はその伸びが緩やかになると見込まれます。

図表 2 東郷町の人口推計（被保険者・グラフ）



図表 3 東郷町の人口推計（被保険者・人数）

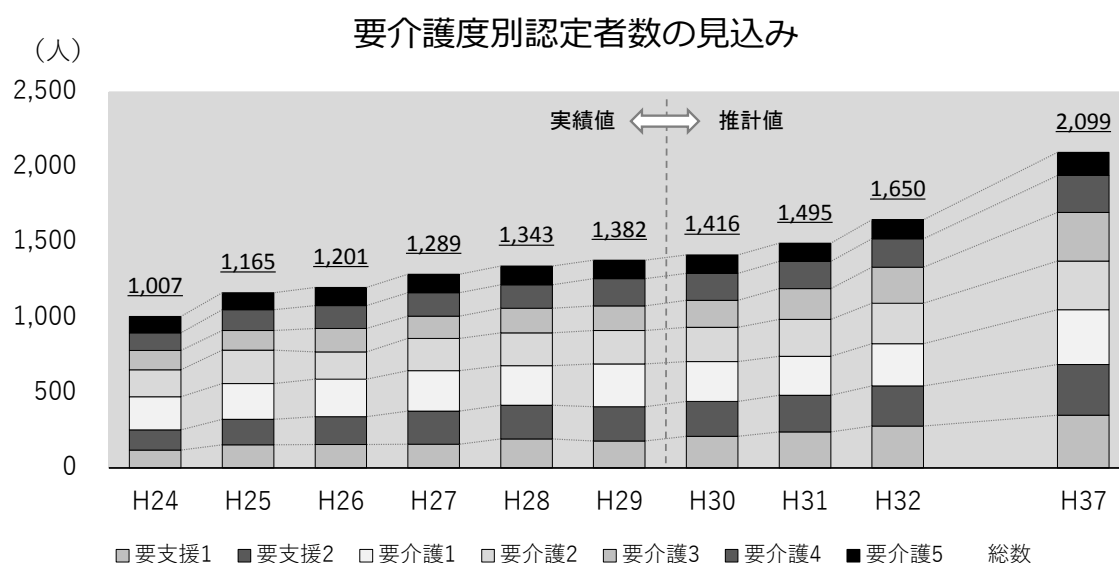
被保険者人口	< 第7期計画期間 >						
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H37
1号(65歳以上)	9,146	9,403	9,595	9,688	9,772	9,842	9,892
うち前期(65-74歳)	5,496	5,481	5,390	5,218	5,039	4,912	3,833
うち後期(75歳以上)	3,650	3,922	4,205	4,470	4,733	4,930	6,059
2号 (40-64歳)	14,034	14,161	14,358	14,509	14,651	14,830	15,507
被保険者 計	23,180	23,564	23,953	24,197	24,423	24,672	25,399

資料 H29 までは東郷町「住民基本台帳人口（外国人住民を含む）」より
H30 以降は各年 9 月末現在推計値

③要介護度別認定者数の推移

要介護認定者は、年々増加傾向にあり、平成 29 年 9 月末現在で 1,382 人（補正值）となっています。今後も増加が予想され、平成 37 年には 2,100 人近くになると見込まれます。要介護度別では要支援 1、2 や要介護 1 までの比較的介護度の軽い人が増えると予想されます。

図表 4 要介護度別認定者数の見込み



図表 5 要介護度別認定者数の見込み

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H37
要支援1	118	154	155	157	192	179	209	239	279	351
要支援2	135	169	186	220	224	227	233	244	266	336
要介護1	220	237	250	270	263	286	266	259	282	366
要介護2	179	224	181	214	219	221	227	246	269	323
要介護3	129	129	156	148	164	164	179	204	239	324
要介護4	117	139	151	156	156	182	181	182	190	246
要介護5	109	113	122	124	125	123	121	121	125	153
総数	1,007	1,165	1,201	1,289	1,343	1,382	1,416	1,495	1,650	2,099

※H28 までは 9 月末現在の数値

H29 は補正值

3 計画策定に向けた課題

(1) アンケート結果からみた課題

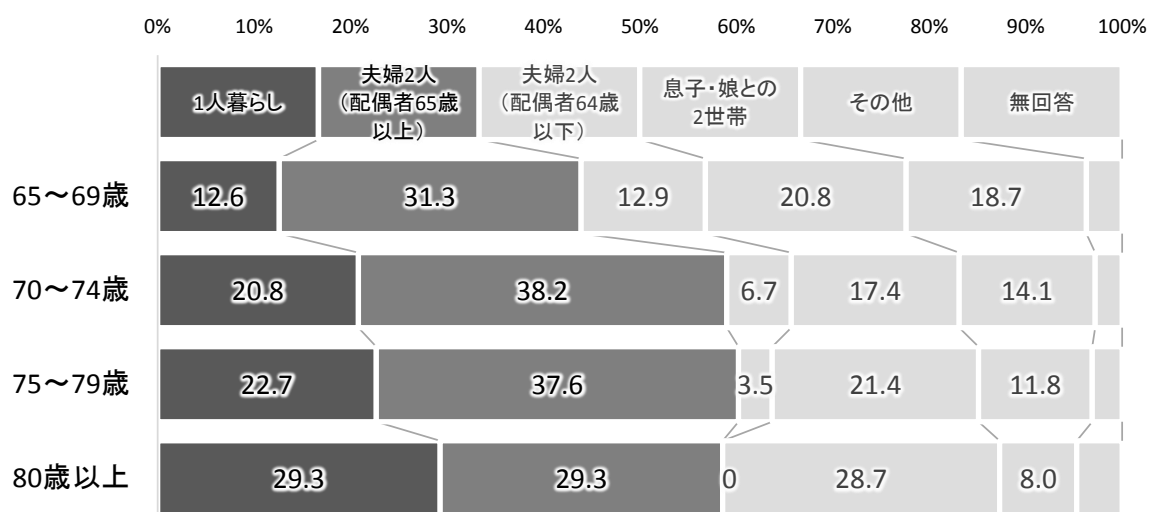
平成 29 年 1 月に実施したアンケート調査結果からみた、第 7 期東郷町高齢者福祉計画に向けた課題は以下のとおりです。

※図タイトルの【】内はアンケート名を以下の略称で表記
【ニーズ調査】 = 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【在宅介護調査】 = 在宅介護実態調査、
【事業者調査】 = サービス事業者アンケート
【ケアマネ調査】 = ケアマネジャーアンケート
 ※ニーズ調査における「要支援・要介護認定者」の回答は、89.6%が要支援認定者のため「**要支援者等**」と略しています

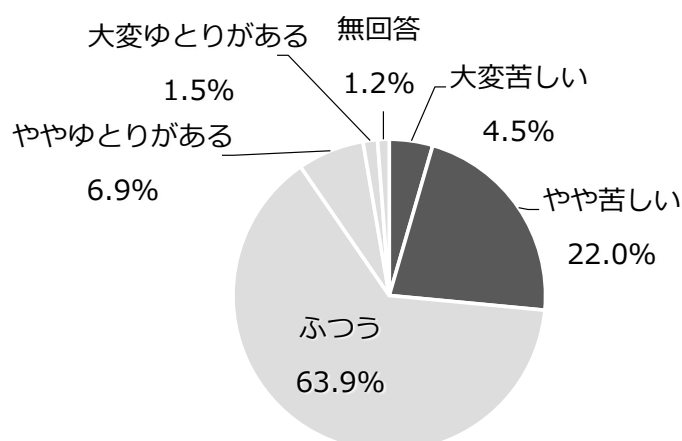
① 家族構成や暮らし向きについて

70 歳以上では高齢者のみ世帯（1 人暮らしと配偶者が 65 歳以上の夫婦 2 人暮らし）が 6 割近く、年代が上がるほど 1 人暮らしが増えていきます。現在の暮らし向きについて、高齢者全体では「ふつう」が 63.9%を占めるものの、「大変苦しい」「やや苦しい」があわせて 26.5%となっています。今住んでいる家（所）で今後も生活していきたいとの回答も 93.4%あることから、様々な生活環境にあっても安心して生活できる地域となるよう取り組んでいく必要があります。

図表 6 年齢別家族構成【ニーズ調査 問 3】（一般高齢者のみ）



図表 7 暮らし向き【ニーズ調査 問 7】



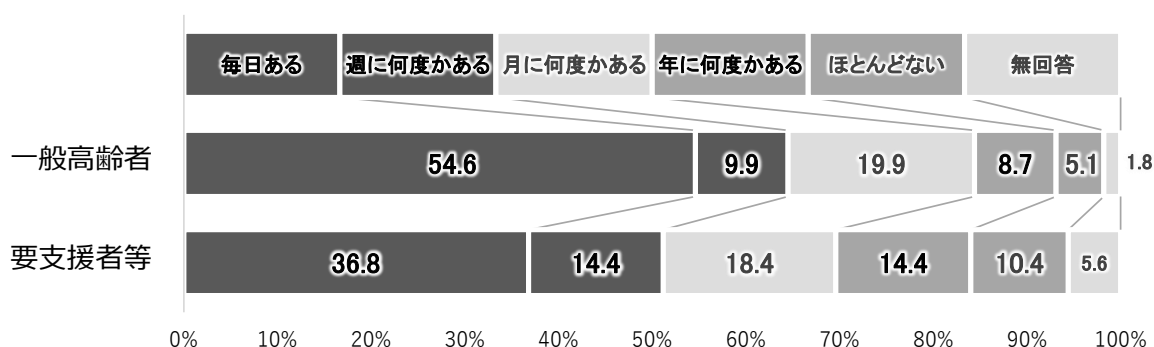
②日常生活の状況について

誰かと食事をともしる機会は全体の約半数が「毎日ある」ものの、「年に何度かある」人が9.4%、「ほとんどない」人も5.6%みられます。特に要支援者等の約4人に1人は「年に何度かある」または「ほとんどない」と答えており、孤食化の傾向がみられます。

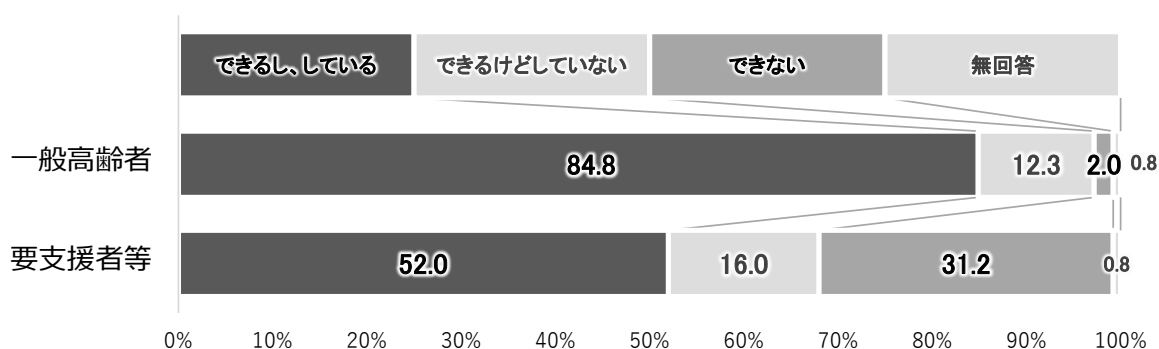
日常生活のなかで、1人での外出や食品などの買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れなど一般高齢者では約8割以上が「できるし、している」と答えていますが、要支援・要介護認定者では約5割と20ポイントほど低下し、特に買い物は30ポイント、一人の外出は50ポイントと特に低くなっています。

こうしたことから、今後も住み慣れた地域で自立した生活を送るために、様々なニーズに応じた日常生活支援策を検討していく必要があります。また、できるだけ要介護状態にならないよう、自ら介護予防に取り組める支援や周知啓発が必要です。

図表 8 誰かと食事をともしる機会【ニーズ調査 問 20】



図表 9 食品・日用品の買い物【ニーズ調査 問 23】



図表 10 バスや電車を使った一人の外出【ニーズ調査 問 22】

